

自主防災会だより

発行者：東生駒南自主防災会
発行日：令和元年12月1日

第21号



他人事ではなくなった大災害

今年の秋は、台風15号、19号、21号と強風だけではなく、大雨による大洪水で全国で多くの被害が発生し、多くの犠牲者を出すような激甚災害となりました。

本地区でも、19号の際、竜田川が増水し、生駒東小学校に避難されていた方もありました。その後も大事には至りませんでした。しかし、「生駒は大丈夫」「奈良は大丈夫」という神話は消え去りました。

今回は大雨の被害でしたが、突然地震が発生しないとは限りません。「50年に一度」「経験したことのない・・・」など、何が起こるかわかりません。高齢化やお一人暮らしの方も増えてきています。今こそ、地域の横のつながりを強くし、どんな災害でも「自助」「共助」の習慣をつけるよう協力し合いましょう。

事前に班長説明会を実施

本地区では、73班に区割りされて担当されている班長さんが、できる限りご都合をつけて参加していただけるよう、日時を3回に分けて班長説明会を実施する予定でした。

1回目と2回目は予定通り実施できましたが、3回目の10月12日にはあいにく台風19号の影響で実施することができず、実施内容を文書でお知らせしました。

班長説明会では会長のあいさつの後、自治会と自主防災会が一体化された中で、自治会はどのような役割を果たせばいいのかについての説明や、防災訓練の目的や意義、訓練実施に当たって、班長の協力の重要性について防災役員が説明しました。



6回目の防災訓練 ついに定着！

11月16日土曜日 午前10時震度6弱の地震発生という想定のもと、防災訓練を実施しました。好天気にも恵まれ、まさに訓練日和となりました。

今年で6回目の実施になります。訓練内容は災害発生時に必須となる住民の安全確認に必要な「情報伝達訓練」が中心となりました。





「情報伝達訓練」とは、地震発生後、自治会員の皆さんに『だいじょうぶ目印』を玄関ドア又は郵便受け近くに掲示し、班長さんがそれを確認、その結果を自治会館（災害対策本部）まで報告する、というものです。

自治会館の入り口の横に設置されたテントで受付をし、確認した結果を記した班の住宅地図を提出してもらい、防災役員が、その結果を大きな白地図に印をつけていきます。班長さんにはこの地図に記入の際、だいじょうぶ目印の掲示状況のほかにも、要介護者がおられる家、空き家や空き地等の現況についても報告していただきました。

伝達状況は年々早くなり、情報伝達訓練が定着していることを実感しました。ただ、2つの班で、班長不在のため報告がな

く、防災役員が代わりに確認に回らなければならないことがありました。

今後、班長不在の際の代替りの2次、3次の連絡体制の確立などの課題が残りました。

情報伝達訓練の後、班長さんには、市役所から配布された非常食（アルファ米）の試食をしていただきました。お湯をかけるだけで炊き立ての風味で味わうことができ災害時の貴重な非常食になりそうです。

これからの課題として、震度6以上の地震が発生し、避難所開設や救出などの対応や備えについてのマニュアル作りができるよう努めていきたいと思えます。



消火器使用訓練

情報伝達訓練終了後、今年で22台に充実した消火器を有効に活用してもらえよう、消火器を使った消火訓練を実施しました。講師として生駒市役所防災安全課からお二人お招きしました。

防火や安全についてのお話の後、器具の持ち方構え方など具体的に消火器の正しい使い方を指導していただきました。

体験された皆さんは、消火器を使用しているところを見ることはあっても、実際に使ったことのない方がほとんどで、初めの間はとてもしこちない様子でした。

訓練の最後まで多くの方が残って講習を受けてくださり、当地区の防災に対する意識の高さや、人のつながりを強く感じる時間でした。

これからもみんなで防災意識を共有し、地域の安全安心のために協力し合いたと思います。

